

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	ビジネス実践力	授業形態	講義	区分	必修
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、社会人になるうえでの基礎力となる自己管理能力・協調行動力・IT活用力・海外行動力に関する基礎知識を幅広く身に付けることを目的とする。</p> <p>【概要】 社会人に求められる基礎能力をそれぞれの状況に応じ体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>自己管理能力、協調行動力、IT活用力、海外行動力の重要性を理解する。</p> <p>学習で学んだ知識を生活の中で実践する。</p> <p>自己管理能力検定・協調行動力検定・IT活用力検定・海外行動力検定に合格する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：自己管理能力とは</p> <p>02：社会人基礎力について</p> <p>03：自己考察/自分流計画シートの書き方</p> <p>04：ウィークリーページの使い方/マンスリーシートの使い方</p> <p>05：個人生活と社会生活/教育基本法と理想の国民像</p> <p>06：形成者としての行動センス/社会における協調行動力</p> <p>07：コミュニケーション/身だしなみ・立ち居振る舞い</p> <p>08：行動と時間/就業規則・職場組織と人間関係</p> <p>09：タブレット端末の環境設定</p> <p>10：アプリケーションソフトの活用</p> <p>11：クラウドサービスとの連携</p> <p>12：情報セキュリティ/情報モラル</p> <p>13：海外行動</p> <p>14：国際通貨</p> <p>15：基本英会話</p>				
テキスト参考文献	名古屋大原学園 自己管理能力検定テキスト・協調行動力検定テキスト・IT活用力検定テキスト・海外行動力検定テキスト				
成績基準	検定試験 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	社会科学 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して政治の役割を学び、憲法を中心とした法律の基礎知識を習得する。</p> <p>【概要】 日本国憲法と政治との関わりを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 基本的人権の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>2. 統治機構の権限・役割に関する基礎知識を身につける。</p> <p>3. 学習を通じて街づくり・災害対策等の活動に関心を持つ。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：政治の基本概念</p> <p>02：政治制度論</p> <p>03：政治過程論</p> <p>04：日本国憲法の特徴</p> <p>05：基本的人権総論</p> <p>06：包括的基本権</p> <p>07：平等権</p> <p>08：自由権</p> <p>09：社会権</p> <p>10：能動的権利と受益権</p> <p>11：国会の機構と運営</p> <p>12：内閣の機構と運営</p> <p>13：裁判所の機構と運営</p> <p>14：地方自治</p> <p>15：基礎法学</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 政治				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	社会科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して経済の仕組みを学び、現代社会に関する基礎知識や、分析力を習得する。</p> <p>【概要】 世の中の経済活動について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 経済社会や経済史についての知識を身に付ける。</p> <p>2. 金融政策や財政政策について説明ができる。</p> <p>3. 現代社会に関する基礎的な分析力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：経済社会の変容と経済体制</p> <p>02：現代の企業</p> <p>03：市場メカニズム</p> <p>04：市場の失敗</p> <p>05：国民所得</p> <p>06：経済成長と景気循環</p> <p>07：通貨制度</p> <p>08：金融政策</p> <p>09：財政制度</p> <p>10：財政政策</p> <p>11：貿易と外国為替</p> <p>12：日本経済①石油危機まで</p> <p>13：日本経済②石油危機後</p> <p>14：国際通貨・金融体制</p> <p>15：地域的経済統合</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 経済				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	社会科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通しての世の中の諸問題を学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p>【概要】 現代社会について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 社会理論や社会問題についての知識を身に付ける。</p> <p>2. 社会理論や社会問題について説明ができる。</p> <p>3. 現代社会に関する基礎的な分析力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：社会集団・社会変動</p> <p>02：現代社会・パーソナリティ</p> <p>03：労働法規</p> <p>04：日本の労働状況</p> <p>05：社会保障制度</p> <p>06：社会保障の状況</p> <p>07：日本の環境問題</p> <p>08：地球環境問題</p> <p>09：国際社会と国際法</p> <p>10：国際機関</p> <p>11：国際情勢</p> <p>12：消費者保護</p> <p>13：医療・健康問題</p> <p>14：社会不安・教育問題</p> <p>15：科学技術・職業・農業</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 社会				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	社会科学演習 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習講義を通して、社会科学の基礎講義を通じて得た知識のアウトプットを行う。</p> <p>【概要】 模擬問題を利用した演習講義</p>				
到達目標	<p>1. 政治分野の基本知識の整理</p> <p>2. 経済分野の基本知識の整理</p> <p>3. 現代社会分野の基本知識の整理</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：政治制度論演習</p> <p>02：政治過程論演習</p> <p>03：明治憲法と日本国憲法の相違点</p> <p>04：包括的基本権演習</p> <p>05：自由権演習</p> <p>06：社会権演習</p> <p>07：統治機構演習 1</p> <p>08：統治機構演習 2</p> <p>09：現代の企業演習</p> <p>10：市場メカニズム演習</p> <p>11：国民所得演習</p> <p>12：景気循環演習</p> <p>13：通貨制度演習</p> <p>14：金融政策演習</p> <p>15：財政制度・政策演習</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座答案練習問題				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	社会科学演習Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習講義を通して、社会科学の基礎講義を通じて得た知識のアウトプットを行う。</p> <p>【概要】 模擬問題を利用した演習講義</p>				
到達目標	<p>1. 政治分野の基本知識の整理</p> <p>2. 経済分野の基本知識の整理</p> <p>3. 現代社会分野の基本知識の整理</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：外国為替演習</p> <p>02：日本経済演習</p> <p>03：国際通貨・金融体制演習</p> <p>04：地域的経済統合演習</p> <p>05：労働法規演習</p> <p>06：労働状況演習</p> <p>07：社会保障制度演習 1</p> <p>08：社会保障制度演習 2</p> <p>09：環境問題演習 1</p> <p>10：環境問題演習 2</p> <p>11：国際機関演習</p> <p>12：国際情勢演習</p> <p>13：消費者保護演習</p> <p>14：医療・健康問題演習</p> <p>15：科学技術・職業・農業演習</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座答案練習問題				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	自然科学 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 細胞や遺伝子のしくみを学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動物や植物についての知識を身に付ける。 2. 生態系の成り立ちについて説明ができる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01：細胞と細胞膜のはたらき</p> <p>02：染色体と細胞分裂</p> <p>03：酵素・呼吸</p> <p>04：同化作用・消化作用</p> <p>05：生殖と発生</p> <p>06：メンデルの法則</p> <p>07：染色体と遺伝現象</p> <p>08：遺伝子の本体と異変</p> <p>09：神経系とそのはたらき</p> <p>10：刺激の受容と反応</p> <p>11：循環系・防衛反応</p> <p>12：肝臓・腎臓・ホルモン</p> <p>13：動植物の調節</p> <p>14：生物の集団</p> <p>15：生物の進化と系統</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 生物				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	自然科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 地球や地球を取り巻く環境、宇宙について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地球や地球を取り巻く環境についての知識を身に付ける。 2. 地球や地球を取り巻く環境について説明ができる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01：地球の形と大きさについて</p> <p>02：プレートテクトニクスについて</p> <p>03：地震について</p> <p>04：火成岩について</p> <p>05：堆積岩・変成岩について</p> <p>06：大気圏について</p> <p>07：断熱変化について</p> <p>08：風について</p> <p>09：高気圧、低気圧、前線について</p> <p>10：日本の四季の特徴について</p> <p>11：地球の自転、公転について</p> <p>12：日周運動、年周運動について</p> <p>13：惑星について</p> <p>14：惑星現象について</p> <p>15：恒星について</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 地学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	自然科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 物質とその変化について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物質とその変化についての知識を身に付ける。 2. 物質とその変化について説明ができる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01：周期表、物質の分類について</p> <p>02：化学の基本法則、原子の構造</p> <p>03：物質の量、化学結合</p> <p>04：状態変化</p> <p>05：気体の性質</p> <p>06：液体の性質</p> <p>07：コロイド</p> <p>08：熱の種類、化学平衡</p> <p>09：酸・塩基、中和</p> <p>10：酸化還元</p> <p>11：イオン化傾向</p> <p>12：電気分解</p> <p>13：無機化合物の性質</p> <p>14：有機化合物の性質</p> <p>15：生活環境の化学</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 化学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	自然科学Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念や原理・法則を体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理の基本的な概念や原理・法則を身に付ける。 2. 物理の基本的な概念や原理・法則を説明できる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。 				
授業内容	回 01：運動の表現 02：重力下での運動 03：力のつり合い、摩擦力 04：浮力、弾性力 05：滑車、モーメント 06：運動方程式 07：仕事 08：エネルギー 09：運動量 10：熱 11：波動 12：電流と電圧 13：電圧、コンデンサー 14：電気と磁界 15：原子核崩壊				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 物理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	自然科学Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。</p> <p>【概要】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 数学の基本的な概念や原理・法則を身に付ける。 2. 数学の基本的な概念や原理・法則を説明できる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01：数と式（展開、因数分解）</p> <p>02：平方根</p> <p>03：式の値</p> <p>04：整式の除法</p> <p>05：1次方程式</p> <p>06：2次方程式</p> <p>07：2次方程式の判別式</p> <p>08：座標</p> <p>09：1次関数</p> <p>10：2次関数の式、最大値、最小値</p> <p>11：2次関数の判別式</p> <p>12：関数と図形</p> <p>13：三角比</p> <p>14：正弦定理・余弦定理</p> <p>15：対数</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数学				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	自然科学演習	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習講義を通して、自然科学 I～V の理解を深める。</p> <p>【概要】 自然科学の問題演習をする。</p>				
到達目標	<p>1. 自然科学の知識を深める。</p> <p>2. 科学的な見方、考え方を定着させる。</p> <p>3. 科学的な見方、考え方をを応用できるようになる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：生物の問題演習①</p> <p>02：生物の問題演習②</p> <p>03：生物の問題演習③</p> <p>04：地学の問題演習①</p> <p>05：地学の問題演習②</p> <p>06：地学の問題③</p> <p>07：化学の問題演習①</p> <p>08：化学の問題演習②</p> <p>09：化学の問題③</p> <p>10：物理の問題演習①</p> <p>11：物理の問題演習②</p> <p>12：物地の問題③</p> <p>13：数学の問題演習①</p> <p>14：数学の問題演習②</p> <p>15：数学の問題③</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 答案練習				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	人文科学 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日本の歴史を学ぶことで、日本と諸外国の関係に目を向け、多様な考え方を養う。</p> <p>【概要】 日本の歴史を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 日本の歴史についての知識を身に付ける。</p> <p>2. 日本の歴史上の出来事を説明できる。</p> <p>3. 学習を通じて、日本と国際関係の知識を得て、分析をできるようにする。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：飛鳥、奈良時代</p> <p>02：平安時代</p> <p>03：鎌倉時代（前期）</p> <p>04：鎌倉時代（後期）</p> <p>05：室町時代</p> <p>06：戦国時代・織豊政権 1</p> <p>07：戦国時代・織豊政権 2</p> <p>08：江戸時代（武断政治、文治政治）</p> <p>09：江戸時代（三大改革）</p> <p>10：江戸時代（幕末）</p> <p>11：明治時代（明治維新）</p> <p>12：明治時代（自由民権運動）</p> <p>13：明治時代（日清・日露戦争）</p> <p>14：大正時代</p> <p>15：戦前・戦後</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 日本史				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	人文科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して世界の歴史を学ぶことで、世界に対する知識や多様な考え方を養う。</p> <p>【概要】 世界の歴史を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 世界の歴史について理解する。</p> <p>2. 世界の歴史から各国の多様な考えを理解する。</p> <p>3. 歴史や各国の考え方を理解したうえで、現代の世界的な問題を捉える。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：古代文明</p> <p>02：東洋史①</p> <p>03：東洋史②</p> <p>04：東洋史③</p> <p>05：イスラム史</p> <p>06：西洋史（古代）</p> <p>07：西洋史（中世）</p> <p>08：西洋史（近代）</p> <p>09：西洋史（16～18世紀）①</p> <p>10：西洋史（16～18世紀）②</p> <p>11：西洋史（19世紀）①</p> <p>12：西洋史（19世紀）②</p> <p>13：西洋史（20世紀前半）</p> <p>14：戦後の歴史①</p> <p>15：現代史</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 世界史				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	人文科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して世界の地形や気候、文化や生活様式などを学習し、国際社会に対応した考え方を養う。</p> <p>【概要】 世界の地形や気候、文化や生活様式を学習する。</p>				
到達目標	<p>1 世界の地形や気候の知識を身に付ける。</p> <p>2. 世界や日本の生活や産業の知識を身に付ける。</p> <p>3. 世界の国々の知識を深める。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：世界の大地形、小地形</p> <p>02：特殊な地形と陸水、海洋について</p> <p>03：世界の気候①</p> <p>04：世界の気候②</p> <p>05：世界の植生、土壌、地図</p> <p>06：世界の農業、水産業</p> <p>07：世界の工業資源</p> <p>08：世界の工業</p> <p>09：世界の都市機構、人口</p> <p>10：日本の国土、人口、産業</p> <p>11：世界地誌（アジア）</p> <p>12：世界地誌（アフリカ、ヨーロッパ①）</p> <p>13：世界地誌（ヨーロッパ②）</p> <p>14：世界地誌（ロシア、北アメリカ）</p> <p>15：世界地誌（南アメリカ、オセアニア）</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 地理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各階の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	人文科学演習 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習講義を通して、人文科学の基礎講義を通じて得た知識のアウトプットを行う。</p> <p>【概要】 模擬問題を利用した演習講義</p>				
到達目標	<p>1. 日本史分野の基本知識の整理</p> <p>2. 世界史分野の基本知識の整理</p> <p>3. 地理分野の基本知識の整理</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：飛鳥、奈良時代の演習</p> <p>02：平安時代の演習</p> <p>03：鎌倉時代演習</p> <p>04：室町時代演習</p> <p>05：戦国時代・織豊政権演習</p> <p>06：江戸時代演習 1</p> <p>07：江戸時代演習 2</p> <p>08：明治時代演習 1</p> <p>09：明治時代演習 2</p> <p>10：大正時代演習</p> <p>11：東洋史演習</p> <p>12：イスラム史演習</p> <p>13：西洋史演習 1</p> <p>14：西洋史演習 2</p> <p>15：西洋史演習 3</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座答案練習問題				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	人文科学演習Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習講義を通して、人文科学の基礎講義を通じて得た知識のアウトプットを行う。</p> <p>【概要】 模擬問題を利用した演習講義</p>				
到達目標	<p>1. 日本史分野の基本知識の整理</p> <p>2. 世界史分野の基本知識の整理</p> <p>3. 地理分野の基本知識の整理</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：戦後演習</p> <p>02：現代史演習</p> <p>03：特殊な地形と陸水、海洋演習</p> <p>04：世界の気候演習①</p> <p>05：世界の気候演習②</p> <p>06：世界の植生、土壌、地図演習</p> <p>07：世界の農業、水産業演習</p> <p>08：世界の工業資源演習</p> <p>09：世界の工業演習</p> <p>10：世界の都市機構、人口演習</p> <p>11：日本の国土、人口、産業演習</p> <p>12：世界地誌演習1</p> <p>13：世界地誌演習2</p> <p>14：世界地誌演習3</p> <p>15：世界地誌演習4</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座答案練習問題				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	数的処理 I	授業形態	講義	区分	必修
年次	1	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める。</p> <p>【概要】 数的推理の問題の読み取り方、立式方法、計算方法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 数的推理の問題を解く事ができる。</p> <p>2. 合理的思考力を身に付ける。</p> <p>3. 合理的思考力を日常生活で生かす。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：四則演算</p> <p>02：整数①</p> <p>03：整数②</p> <p>04：割合①</p> <p>05：割合②</p> <p>06：方程式①</p> <p>07：方程式②</p> <p>08：速さ①</p> <p>09：速さ②</p> <p>10：仕事算①</p> <p>11：仕事算②</p> <p>12：場合の数①</p> <p>13：場合の数②</p> <p>14：確率①</p> <p>15：確率②</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 判断推理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	数的処理Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める。</p> <p>【概要】 数的推理の問題の読み取り方、立式方法、計算方法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 数的推理の問題を解く事ができる。</p> <p>2. 合理的思考力を身に付ける。</p> <p>3. 合理的思考力を日常生活で生かす。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：整数①</p> <p>02：整数②</p> <p>03：割合①</p> <p>04：割合②</p> <p>05：方程式①</p> <p>06：方程式②</p> <p>07：速さ①</p> <p>08：速さ②</p> <p>09：仕事算①</p> <p>10：仕事算②</p> <p>11：場合の数①</p> <p>12：場合の数②</p> <p>13：確率①</p> <p>14：確率②</p> <p>15：総合問題</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 判断推理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	数的処理Ⅲ	授業形態	講義	区分	必修
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して与えられた情報を系統的に整理し、問題解決能力と柔軟な思考力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の問題を解き解法（基礎）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 記号化させて問題を解くことができる。</p> <p>2. 作図をして問題を解くことができる。</p> <p>3. 作表をして問題を解くことができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：論理（基礎）</p> <p>02：集合ベン図（基礎）</p> <p>03：集合キャロル図（基礎）</p> <p>04：順序（基礎）</p> <p>05：対応（基礎）</p> <p>06：位置（基礎）</p> <p>07：方位（基礎）</p> <p>08：勝敗トーナメント（基礎）</p> <p>09：勝敗リーグ（基礎）</p> <p>10：カード（基礎）</p> <p>11：ゲーム（基礎）</p> <p>12：ウソの発言（基礎）</p> <p>13：推理（基礎）</p> <p>14：手順（基礎）</p> <p>15：暗号（基礎）</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 判断推理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	数的処理Ⅳ	授業形態	講義	区分	必修
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して与えられた情報を系統的に整理し、問題解決能力と柔軟な思考力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の問題を解き解法（応用）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 記号化させて問題を解くことができる。</p> <p>2. 作図をして問題を解くことができる。</p> <p>3. 作表をして問題を解くことができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：論理（応用）</p> <p>02：集合ベン図（応用）</p> <p>03：集合キャロル図（応用）</p> <p>04：順序（応用）</p> <p>05：対応（応用）</p> <p>06：位置（応用）</p> <p>07：方位（応用）</p> <p>08：勝敗トーナメント（応用）</p> <p>09：勝敗リーグ（応用）</p> <p>10：カード（応用）</p> <p>11：ゲーム（応用）</p> <p>12：ウソの発言（応用）</p> <p>13：推理（応用）</p> <p>14：手順（応用）</p> <p>15：暗号（応用）</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 判断推理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	数的処理Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して基本的な空間認知力を養い、平面幾何学の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 空間把握の問題を解き解法（基礎）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 平面図形（二次元）を正しく把握する。</p> <p>2. 空間図形（三次元）を正しく理解する。</p> <p>3. 空間把握力を日常生活に活用する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：軌跡①（基礎）</p> <p>02：軌跡②（基礎）</p> <p>03：平面構成①（基礎）</p> <p>04：平面構成②（基礎）</p> <p>05：正多面体（基礎）</p> <p>06：展開図①（基礎）</p> <p>07：展開図②（基礎）</p> <p>08：立体構成①（基礎）</p> <p>09：立体構成②（基礎）</p> <p>10：立体構成③（基礎）</p> <p>11：平面図形の計量①（基礎）</p> <p>12：平面図形の計量②（基礎）</p> <p>13：平面図形の計量③（基礎）</p> <p>14：立体図形の計量①（基礎）</p> <p>15：立体図形の計量②（基礎）</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 図形				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	数的処理VI	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して発展的な空間認知力を養い、平面幾何学の応用を学ぶ。</p> <p>【概要】 空間把握の問題を解き解法（応用）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 平面図形（二次元）を正しく把握する。</p> <p>2. 空間図形（三次元）を正しく理解する。</p> <p>3. 空間把握力を日常生活に活用する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：軌跡①（応用）</p> <p>02：軌跡②（応用）</p> <p>03：平面構成①（応用）</p> <p>04：平面構成②（応用）</p> <p>05：正多面体（応用）</p> <p>06：展開図①（応用）</p> <p>07：展開図②（応用）</p> <p>08：立体構成①（応用）</p> <p>09：立体構成②（応用）</p> <p>10：立体構成③（応用）</p> <p>11：平面図形の計量①（応用）</p> <p>12：平面図形の計量②（応用）</p> <p>13：平面図形の計量③（応用）</p> <p>14：立体図形の計量①（応用）</p> <p>15：立体図形の計量②（応用）</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 図形				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	資料解釈	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して複数の資料やデータから導きだされるものを学ぶ。</p> <p>【概要】 図表やグラフの見方を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 資料を正しく理解する。</p> <p>2. 計算力を鍛える。</p> <p>3. 資料を読み解く力を実生活に活用する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：概算方法</p> <p>02：実数資料①</p> <p>03：実数資料②</p> <p>04：実数資料③</p> <p>05：構成比資料①</p> <p>06：構成比資料②</p> <p>07：構成比資料③</p> <p>08：指数資料①</p> <p>09：指数資料②</p> <p>10：指数資料③</p> <p>11：増加率資料①</p> <p>12：増加率資料②</p> <p>13：増加率資料③</p> <p>14：その他の資料①</p> <p>15：その他の資料②</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理 資料解釈				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	数的処理演習基礎	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2学期		
授業回数	30	単位時間数	60	実務家	
授業目的概要	<p>【目的】 演習講義を通して判断力・推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める。</p> <p>【概要】 数的処理の問題演習をする。</p>				
到達目標	<p>1. 数的処理の問題を解く事ができる。</p> <p>2. 合理的思考力を高める。</p> <p>3. 正確なデータ整理と分析枠組みを習得する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：整数の基礎問題</p> <p>02：割合の基礎問題</p> <p>03：方程式の基礎問題</p> <p>04：速さ、仕事の基礎問題</p> <p>05：場合の数、確率の基礎問題</p> <p>06：集合、論理の基礎問題</p> <p>07：対応、順序の基礎問題</p> <p>08：位置、方位の基礎問題</p> <p>09：勝敗、うその発言の基礎問題</p> <p>10：カード、推理手順、暗号の基礎問題</p> <p>11：平面図形の基礎問題</p> <p>12：正多面体、展開図の基礎問題</p> <p>13：空間図形の基礎問題</p> <p>14：図形の計量（平面図形）の基礎問題</p> <p>15：図形の計量（空間図形）の基礎問題</p>	<p>回</p> <p>16：整数の基礎問題</p> <p>17：割合の基礎問題</p> <p>18：方程式の基礎問題</p> <p>19：速さ、仕事の基礎問題</p> <p>20：場合の数、確率の基礎問題</p> <p>21：集合、論理の基礎問題</p> <p>22：対応、順序の基礎問題</p> <p>23：位置、方位の基礎問題</p> <p>24：勝敗、うその発言の基礎問題</p> <p>25：カード、推理手順、暗号の基礎問題</p> <p>26：平面図形の基礎問題</p> <p>27：正多面体、展開図の基礎問題</p> <p>28：空間図形の基礎問題</p> <p>29：図形の計量（平面図形）の基礎問題</p> <p>30：図形の計量（空間図形）の基礎問題</p>			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座答案練習問題				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	数的処理演習応用	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	30	単位時間数	60	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習講義を通して判断力・推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める。</p> <p>【概要】 数的処理の問題演習をする。</p>				
到達目標	<p>1. 数的処理の問題を解く事ができる。</p> <p>2. 合理的思考力を高める。</p> <p>3. 正確なデータ整理と分析枠組みを習得する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：整数の応用問題</p> <p>02：割合の応用問題</p> <p>03：方程式の応用問題</p> <p>04：速さ、仕事の応用問題</p> <p>05：場合の数、確率の応用問題</p> <p>06：集合、論理の応用問題</p> <p>07：対応、順序の応用問題</p> <p>08：位置、方位の応用問題</p> <p>09：勝敗、うその発言の応用問題</p> <p>10：カード、推理手順、暗号の応用問題</p> <p>11：平面図形の応用問題</p> <p>12：正多面体、展開図の応用問題</p> <p>13：空間図形の応用問題</p> <p>14：図形の計量（平面図形）の応用問題</p> <p>15：図形の計量（空間図形）の応用問題</p>	<p>回</p> <p>16：整数の応用問題</p> <p>17：割合の応用問題</p> <p>18：方程式の応用問題</p> <p>19：速さ、仕事の応用問題</p> <p>20：場合の数、確率の応用問題</p> <p>21：集合、論理の応用問題</p> <p>22：対応、順序の応用問題</p> <p>23：位置、方位の応用問題</p> <p>24：勝敗、うその発言の応用問題</p> <p>25：カード、推理手順、暗号の応用問題</p> <p>26：平面図形の応用問題</p> <p>27：正多面体、展開図の応用問題</p> <p>28：空間図形の応用問題</p> <p>29：図形の計量（平面図形）の応用問題</p> <p>30：図形の計量（空間図形）の応用問題</p>			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座答案練習問題				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の 内容	答案練習で出題された範囲の見直し、復習。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	文章理解	授業形態	講義	区分	必修
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して長文読解問題の解き方を学び、論理的な思考力を養う。また世界や日本の哲学・思想を学び、幅広い視野を身に付ける。</p> <p>【概要】 長文読解問題の解法（現代文・英文）と世界と日本の哲学・思想を学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代文の読解ができる。 2. 簡単な英文の読解ができる。 3. 哲学者・思想家の思考や記述に関心を持つ。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01：国語文法</p> <p>02：内容把握問題（主旨・要旨把握問題）</p> <p>03：内容把握問題（内容合致問題）</p> <p>04：文章整序問題</p> <p>05：空欄補充問題</p> <p>06：英文の解法</p> <p>07：西洋思想の源流（ギリシアの思想）</p> <p>08：西洋の近代思想（経験論と合理論）</p> <p>09：西洋の近代思想（社会契約説・功利主義）</p> <p>10：西洋の近代思想（ドイツ観念論）</p> <p>11：現代思想</p> <p>12：東洋思想</p> <p>13：日本の思想（鎌倉仏教）</p> <p>14：日本の思想（日本の儒学・民衆の思想）</p> <p>15：日本の近代思想</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 文章理解 資格の大原公務員講座 思想倫理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	文章理解演習	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習講義を通して文章理解の解答力を養う。</p> <p>【概要】 文章理解の演習</p>				
到達目標	<p>1. 現代文の長文読解ができる。</p> <p>2. 英文の読解ができる。</p> <p>3. 様々な思想家・哲学者の考え方を理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：国語文法応用</p> <p>02：内容把握問題応用（主旨・要旨把握問題）</p> <p>03：内容把握問題応用（内容合致問題）</p> <p>04：文章整序問題応用</p> <p>05：空欄補充問題応用</p> <p>06：英文の解法応用</p> <p>07：西洋思想の源流（ギリシアの思想）応用</p> <p>08：西洋の近代思想（経験論と合理論）応用</p> <p>09：西洋の近代思想（社会契約説・功利主義）応用</p> <p>10：西洋の近代思想（ドイツ観念論）応用</p> <p>11：現代思想応用</p> <p>12：東洋思想応用</p> <p>13：日本の思想応用（鎌倉仏教）</p> <p>14：日本の思想応用（日本の儒学・民衆の思想）</p> <p>15：日本の近代思想応用</p>				
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 文章理解 資格の大原公務員講座 思想倫理				
成績基準	期末試験 70% 講義の出席 30% 計 100%				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	コミュニケーションスキル I (1)	授業形態	演習	区分	必修
年次	1	時期	1 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して面接力や人物器量を鍛える。</p> <p>【概要】 面接練習</p>				
到達目標	<p>1. 面接力の向上</p> <p>2. 自己分析をする。</p> <p>3. 品格を鍛える。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：求められる人物像について</p> <p>02：面接シートの書き方指導</p> <p>03：自己分析①</p> <p>04：自己分析②</p> <p>05：面接シートの作成</p> <p>06：集団面接練習①</p> <p>07：集団面接練習②</p> <p>08：集団面接練習③</p> <p>09：個人面接練習①</p> <p>10：個人面接練習②</p> <p>11：個人面接練習③</p> <p>12：個人面接練習④</p> <p>13：効果測定①</p> <p>14：効果測定②</p> <p>15：効果測定③</p>				
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定における評価 70% 出席率 30% 計 100%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	コミュニケーションスキル I (2)	授業形態	演習	区分	必修
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して面接力や人物器量を鍛える。</p> <p>【概要】 面接練習</p>				
到達目標	<p>1. 面接力の向上</p> <p>2. 自己分析をする。</p> <p>3. 品格を鍛える。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：求められる人物像について</p> <p>02：面接シートの書き方指導</p> <p>03：自己分析①</p> <p>04：自己分析②</p> <p>05：面接シートの作成</p> <p>06：集団面接練習①</p> <p>07：集団面接練習②</p> <p>08：集団面接練習③</p> <p>09：個人面接練習①</p> <p>10：個人面接練習②</p> <p>11：個人面接練習③</p> <p>12：個人面接練習④</p> <p>13：効果測定①</p> <p>14：効果測定②</p> <p>15：効果測定③</p>				
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定における評価 70% 出席率 30% 計 100%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	コミュニケーションスキルⅡ	授業形態	演習	区分	必修
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通してディベートについて学ぶ。</p> <p>【概要】 集団討論練習</p>				
到達目標	<p>1. 討論力の向上</p> <p>2. 多様な考え方を理解する。</p> <p>3. 協調性と問題解決力を養う。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：集団討論とは</p> <p>02：「是か非か」型を学ぶ</p> <p>03：「是か非か」討論練習①</p> <p>04：「是か非か」討論練習②</p> <p>05：「是か非か」討論練習③</p> <p>06：「自由討論」型を学ぶ</p> <p>07：「自由討論」討論練習①</p> <p>08：「自由討論」討論練習②</p> <p>09：「自由討論」討論練習③</p> <p>10：「問題解決」型を学ぶ</p> <p>11：「問題解決」討論練習①</p> <p>12：「問題解決」討論練習②</p> <p>13：「問題解決」討論練習③</p> <p>14：総合練習①</p> <p>15：総合練習②</p>				
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定における評価 70% 出席率 30% 計 100%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	ビジネスマナー基礎演習	授業形態	演習	区分	必修
年次	1	時期	2学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 入社後に必要とされるマナーや仕事の進め方、電話応対等の実践的なスキルを身に付ける。</p> <p>【概要】 就職活動時におけるマナーや技能について、ロールプレイ形式により身に付ける。</p>				
到達目標	<p>社会人に必要なマナーを理解する。</p> <p>立ち居振舞、正しい敬語を使うことができる。</p> <p>基本的な電話応対スキルが身に付いている。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：職場のマナー</p> <p>02：仕事の進め方</p> <p>03：挨拶と敬語①</p> <p>04：挨拶と敬語②</p> <p>05：電話応対マナー</p> <p>06：電話を取り次げない場合1（不在・外出）</p> <p>07：電話を取り次げない場合2（休暇・出張）</p> <p>08：電話を取り次げない場合3（電話中）</p> <p>09：電話を取り次げない場合4（その他）</p> <p>10：電話を取り次げない場合5（伝言・メモの書き方）</p> <p>11：電話の掛け方の基本</p> <p>12：電話の受け方応用（道案内等）</p> <p>13：電話応対のロールプレイ1</p> <p>14：電話応対のロールプレイ2</p> <p>15：電話応対のロールプレイ3</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「ビジネスマナー」、随時参考資料を配布する。				
成績基準	期末テスト 60% ロールプレイング 30% 出席率 10%(出席率 80%以上) 計 100%				
準備学習の 内容	テキストの内容確認をする。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	簿記原理	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎を学び、中小企業レベルの記帳から決算の処理までを身につける。</p> <p>【概要】 日本商工会議所簿記検定初級・3級を通して、中小企業レベルの記帳から財務諸表の作成までを学ぶ</p>				
到達目標	<p>中小企業レベルの主要簿作成ができる</p> <p>中小企業レベルの決算処理と財務諸表作成ができる</p> <p>日本商工会議所簿記検定の初級・3級を合格する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：簿記の目的・損益計算書と貸借対照表・取引と仕訳</p> <p>02：勘定口座への記入方法・主要簿と補助簿・試算表・決算</p> <p>03：商品売買の記帳法方法</p> <p>04：商品有高帳・現金の記帳方法・当座預金の記帳方法</p> <p>05：小口現金出納帳・手形の記帳方法</p> <p>06：有価証券・有形固定資産・その他の債権及び債務・資本金</p> <p>07：訂正仕訳・試算表の作成・伝票</p> <p>08：決算・売上原価の計算・精算表・貸倒れ引当金</p> <p>09：減価償却・売買目的有価証券の決算整理・繰延べ・見越し</p> <p>10：消耗品および消耗品費・現金過不足、損益計算書および貸借対照表の作成</p> <p>11：総まとめ①（仕訳、個別問題対策）</p> <p>12：総まとめ②（試算表対策）</p> <p>13：総まとめ③（精算表、財務諸表対策）</p> <p>14：模擬試験①②（直前模試1、2回）</p> <p>15：模擬試験③④（直前模試3回、公開模擬試験）</p>				
テキスト 参考文献	簿記3級公式テキスト（大原出版）				
成績基準	模擬試験の結果及び課題提出状況				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	簿記通論	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。</p> <p>【概要】 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 簿記一巡の流れを理解している。</p> <p>2. 基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。</p> <p>3. 小規模企業における財務諸表の作成ができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：簿記一巡の手続き</p> <p>02：株式会社会計</p> <p>03：商品売買</p> <p>04：現金及び預金</p> <p>05：債権及び債務 1</p> <p>06：債権及び債務 2</p> <p>07：有価証券及び有形固定資産</p> <p>08：収益及び費用</p> <p>09：税金</p> <p>10：決算</p> <p>11：決算整理 1</p> <p>12：決算整理 2</p> <p>13：決算整理 3</p> <p>14：損益計算書</p> <p>15：貸借対照表</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「ALFA3 商業簿記テキスト」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	3級総合	授業形態	演習	区分	選択
年次	1	時期	3学期		
授業回数	30	単位時間数	60	実務家	
授業目的概要	<p>【目的】 日商簿記初級・3級の実践問題演習を通して、検定試験に合格する能力を身につける。</p> <p>【概要】 日商簿記初級・3級の実践問題演習及び解答解説を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 日商簿記初級・3級レベルの仕訳及び勘定口座への記入ができる。</p> <p>2. 日商簿記初級・3級レベルの試算表や財務諸表の作成ができる。</p> <p>3. 日商簿記検定初級・3級合格レベルに到達する。</p>				
授業内容	回 01：仕訳問題演習 1 02：仕訳問題演習 2 03：仕訳問題演習 3 04：補助簿演習 1 05：補助簿演習 2 06：試算表演習 1 07：試算表演習 2 08：試算表演習 3 09：精算表演習 1 10：精算表演習 2 11：財務諸表演習 1 12：財務諸表演習 2 13：財務諸表演習 3 14：決算整理演習 1 15：決算整理演習 2	回 16：過去問演習 1 17：過去問演習 1 解説 18：過去問演習 2 19：過去問演習 2. 解説 20：過去問演習 3 21：過去問演習 3 解説 22：公開模試 演習 23：公開模試 解説 24：直前答練 1回 演習 25：直前答練 1回 解説 26：直前答練 2回 演習 27：直前答練 2回 解説 28：直前答練 3回 演習 29：直前答練 3回 解説 30：総まとめ			
テキスト参考文献	大原学園「日商3級総まとめ」、「公開模試」、「直前答練習」				
成績基準	模擬試験の平均点 80% 出席率 20% 計 100%				
準備学習の内容	指定した範囲の予習を行うこと				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	体育トレーニング	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的概要	<p>【目的】 トレーニングを通して心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。</p> <p>【概要】 トレーニングの理論を理解し実践できる。</p>				
到達目標	<p>1. 筋力トレーニングの理論を身に付ける。 1. 持久力トレーニングの理論を身に付ける。 3 自分の体力に合わせたトレーニングを実践できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：ストレッチ 02：ケガの予防 03：応急手当 04：ボディウエイトトレーニング上半身 05：ボディウエイトトレーニング下半身 06：体幹トレーニング上半身 07：体幹トレーニング下半身 08：有酸素運動 09：球技実習バレーボール 10：球技実習卓球 11：ダンス 12：救命講習理論 13：救命講習実技 14：救命講習効果測定 15：体力測定</p>				
テキスト 参考文献	名古屋市消防局「あなたが救える命のために」				
成績基準	体力測定会、救命講習の結果 70% 出席率 30% 計 100%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	職業実践 I	授業形態	講義 実習	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	○
授業目的 概要	<p>【目的】 講義・実習を通して、法に興味関心を持ち法的思考力を身に付ける。</p> <p>【概要】 私生活と法のかかわりについて講義を中心に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 法とは何かを理解する。</p> <p>2. 法の役割を理解する。</p> <p>3. 法的思考力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：法とは何か</p> <p>02：日常生活と法の関わり 1 親族</p> <p>03：日常生活と法の関わり 2 婚姻</p> <p>04：日常生活と法の関わり 3 相続①</p> <p>05：日常生活と法の関わり 4 相続②</p> <p>06：日常生活と法の関わり 5 契約①</p> <p>07：日常生活と法の関わり 6 契約②</p> <p>08：日常生活と法の関わり 7 売買①</p> <p>09：日常生活と法の関わり 8 売買②</p> <p>10：日常生活と法の関わり 賃貸借①</p> <p>11：日常生活と法の関わり 10 賃貸借②</p> <p>12：日常生活と法の関わり 11 消費貸借</p> <p>13：事例検討 1</p> <p>14：事例検討 2</p> <p>15：事例検討 3</p>				
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	確認テスト 70% 出席率 30% 計 100%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	職業実践Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通じて、官公庁や企業で働くうえで必要な行政活動の知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 行政法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 国・地方公共団体と市民との関係を理解する。</p> <p>2. 市民に対して実施される行政活動の知識について身につける。</p> <p>3. 行政活動の救済について理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：国・地方公共団体の行政組織</p> <p>02：国・地方公共団体と市民との関係</p> <p>03：行政行為①</p> <p>04：行政行為②</p> <p>05：行政行為の瑕疵</p> <p>06：行政行為の取消撤回</p> <p>07：行政強制①</p> <p>08：行政強制②</p> <p>09：行政強制③</p> <p>10：行政指導</p> <p>11：行政契約</p> <p>12：国家賠償①</p> <p>13：国家賠償②</p> <p>14：行政争訟①</p> <p>15：行政争訟②</p>				
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	確認テスト 70% 出席率 30% 計 100%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	職業実践Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	1学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、企業・官公庁における様々な職種を知り、自己の職業選択に役立てる。</p> <p>【概要】 公務員ガイドブックや就職ガイドブックを利用した講義</p>				
到達目標	<p>1. 公務員の職種を理解する。</p> <p>2. 民間企業の業界、職種を理解する。</p> <p>3. 官公庁を学ぶ。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：就職斡旋規定 1</p> <p>02：就職斡旋規定 2</p> <p>03：公務員職種研究 1</p> <p>04：公務員職種研究 2</p> <p>05：公務員職種研究 3</p> <p>06：公務員職種研究 4</p> <p>07：企業業界説明 1</p> <p>08：企業業界説明 2</p> <p>09：企業業界説明 3</p> <p>10：企業業界研究</p> <p>11：活動準備 1</p> <p>12：活動準備 2</p> <p>13：活動準備 3</p> <p>14：活動準備 4</p> <p>15：官公庁・企業説明会</p>				
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	レポート 70% 出席率 30% 計 100%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	職業実践Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、企業・官公庁で働くうえで大切な労働知識を身に付ける</p> <p>【概要】 労働基準法・公務員法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 労働基準法を理解する。</p> <p>2. 労働基準法を実社会で役立てる。</p> <p>3. 快適な働き方について研究発表する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：職場の労働知識 契約 1</p> <p>02：職場の労働知識 契約 2</p> <p>03：職場の労働知識 賃金 1</p> <p>04：職場の労働知識 賃金 2</p> <p>05：職場の労働知識 労働時間 1</p> <p>06：職場の労働知識 労働時間 2</p> <p>07：職場の労働知識 休憩休日 1</p> <p>08：職場の労働知識 休憩休日 2</p> <p>09：職場の労働知識 年次有給休暇 1</p> <p>10：職場の労働知識 年次有給休暇 2</p> <p>11：職場の労働知識 退職 1</p> <p>12：職場の労働知識 退職 2</p> <p>13：職場の労働知識 ハラスメント 1</p> <p>14：職場の労働知識 ハラスメント 2</p> <p>15：職場の労働知識 労働組合</p>				
テキスト参考文献	特になし				
成績基準	確認テスト 70% 出席率 30% 計 100%				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を確認すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	職業実践Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、犯罪や事故から身を守る力を身に付ける。</p> <p>【概要】 刑法の基礎と防犯に関する知識を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. 刑法総論、窃盗罪の構成要件および窃盗罪等に関する防犯知識を身に付ける。</p> <p>2. グループワーク（プレゼンテーション作成）と、詐欺やインターネット犯罪、薬物事犯に関する知識と防犯知識を身に付ける。</p> <p>3. グループワーク（プレゼンテーション作成）と発表。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：刑法総論</p> <p>02：刑法各論（窃盗、強盗、遺失物横領）</p> <p>03：乗り物盗に関する防犯知識</p> <p>04：ひったくり、侵入盗に関する防犯知識</p> <p>05：グループワーク（プレゼンテーション作成）</p> <p>06：プレゼンテーション発表</p> <p>07：プレゼンテーション発表</p> <p>08：刑法、特別法各論（詐欺、インターネット犯罪）</p> <p>09：詐欺、インターネット犯罪に関する防犯知識</p> <p>10：特別法（薬物事犯）道路交通法各論</p> <p>11：薬物事犯、交通事故に対する防犯知識</p> <p>12：グループワーク（プレゼンテーション作成）</p> <p>13：グループワーク（プレゼンテーション作成）</p> <p>14：プレゼンテーション発表</p> <p>15：プレゼンテーション発表</p>				
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座 刑法 ムック 防犯バイブル				
成績基準	確認テスト 70% 出席率 30% 計 100%				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を確認すること。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	職業実践VI	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 各自治体の取組内容を学ぶことでそれぞれの自治体がおかれている状況、課題を理解する。</p> <p>【概要】 各自治体の政策研究を行い、プレゼンテーションで発表する。</p>				
到達目標	<p>1. 政策研究を行い、自治体ごとの課題を知る</p> <p>2. 研究の中で得た知識を志望動機につなげる。</p> <p>3. 魅力的な政策をプレゼンテーションにて発表</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：自治体の政策とは</p> <p>02：政策紹介 1</p> <p>03：政策紹介 2</p> <p>04：政策紹介 3</p> <p>05：政策研究 1</p> <p>06：政策研究 2</p> <p>07：政策研究 3</p> <p>08：スライド作成 1</p> <p>09：スライド作成 2</p> <p>10：スライド作成 3</p> <p>11：スライド作成 4</p> <p>12：発表準備 1</p> <p>13：発表準備 2</p> <p>14：発表準備 3</p> <p>15：研究発表</p>				
テキスト 参考文献	自治体広報及び HP				
成績基準	研究発表における評価 100%				
準備学習の 内容	受験先の自治体について事前検討しておくことが望ましい。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	職業実践Ⅶ	授業形態	講義 実習	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	○
授業目的 概要	<p>【目的】 課外活動を答して、街づくりについて学ぶと共に、ボランティア活動に参加し奉仕者とは何かを理解する。</p> <p>【概要】 テーマに沿った街づくりの研究及び課外活動による実地調査を行う。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自治体と協力し、街づくりの基本を学ぶ 2. 各地のイベントに参加する中で、奉仕者としての立場を学ぶ。 3. 街づくりの課題を考察し、プレゼンテーションで発表する。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01：オリエンテーション</p> <p>02：テーマ事前研究 1</p> <p>03：テーマ事前研究 2</p> <p>04：テーマ事前研究 3</p> <p>05：テーマに基づく実地調査 1</p> <p>06：テーマに基づく実地調査 2</p> <p>07：振り返り 1</p> <p>08：振り返り 2</p> <p>09：スライド作成 1</p> <p>10：スライド作成 2</p> <p>11：スライド作成 3</p> <p>12：発表準備 1</p> <p>13：発表準備 2</p> <p>14：発表準備 3</p> <p>15：研究発表</p>				
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	研究発表における評価 100%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	卒業実践研究	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 学生生活を通じて関心を持った事柄に対して、様々な媒体より情報収集を行い、テーマに対しての幅広い知識と自分の考えや意見を発表する。</p> <p>【概要】 情報収集、分析を行ったうえでスライド作成、発表を行う。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発表にふさわしい題材の選出 2. 社会人を意識したプレゼン発表 3. 見る側を意識したスライド作成 				
授業内容	<p>回</p> <p>01：題材研究 1 02：題材研究 2 03：題材研究 3 04：原稿作成 1 05：原稿作成 2 06：原稿作成 3 07：原稿作成 4 08：スライド作成 1 09：スライド作成 2 10：スライド作成 3 11：スライド作成 4 12：スライド作成 5 13：発表練習 1 14：発表練習 2 15：研究発表</p>				
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	研究発表における評価 100%				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	一般教養 I	授業形態	講義	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して書類文書作成に欠かせない漢字能力を身につける。</p> <p>【概要】 漢字熟語を学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 漢字の読み書きを習得する。</p> <p>2. 四字熟語・ことわざ・故事成語の理解を深める。</p> <p>3. 漢字検定 3 級に合格できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：漢字の読み①</p> <p>02：漢字の読み②</p> <p>03：漢字の書き①</p> <p>04：漢字の書き②</p> <p>05：漢字の書き③</p> <p>06：送りがなのある漢字</p> <p>07：部首</p> <p>08：熟語の構成</p> <p>09：同音異議語①</p> <p>10：同音異議語②</p> <p>11：類義語</p> <p>12：対義語</p> <p>13：四字熟語①</p> <p>14：四字熟語②</p> <p>15：四字熟語③</p>				
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	月間テスト評価 100%				
準備学習の 内容	事前配布プリントを確認しておくことが望ましい。				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	Word 実習基礎	授業形態	演習	区分	選択
年次	1	時期	2 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Word の基本操作から文字入力、ビジネス文書の作成知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 Microsoft Word の機能や文書の作成に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. ビジネス文書の知識を習得し、Word の基本操作及び罫線を利用した表組みができる。</p> <p>2. 図表などで情報を表現し、状況にあったビジネス文書を作成できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : Word の基本操作</p> <p>02 : ビジネス文書の基本ルール</p> <p>03 : 社外文書の作成</p> <p>04 : 社内文書の作成</p> <p>05 : 様々な書式設定</p> <p>06 : シンプルなレポートの作成</p> <p>07 : 報告書の作成</p> <p>08 : 表を使った文書の作成</p> <p>09 : ワードアートを使った文書の作成</p> <p>10 : 画像を使った文書の作成</p> <p>11 : 図形を使った文書の作成</p> <p>12 : SmartArt を使った文書の作成</p> <p>13 : ビジネス文書の作成 1</p> <p>14 : ビジネス文書の作成 2</p> <p>15 : ビジネス文書の作成 3</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「パソコン実習」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

公務員科（1年制）					
授業科目	Excel 実習基礎	授業形態	演習	区分	選択
年次	1	時期	3 学期		
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Excel の基本操作から表計算、関数の活用、グラフの作成、データベースの活用知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 Microsoft Excel の機能や表計算に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. データ入力と計算式の作成及び表の作成、編集を行うことができる。</p> <p>2. グラフの作成と編集ができ、基本的な関数を利用することができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : Excel の基本操作</p> <p>02 : 数式について</p> <p>03 : SUM 関数について</p> <p>04 : 見やすく使いやすい表にする編集操作</p> <p>05 : グラフの基本</p> <p>06 : 目的に応じたグラフの作成と編集</p> <p>07 : 複合グラフの作成</p> <p>08 : 相対参照と絶対参照</p> <p>09 : AVERAGE 関数について</p> <p>10 : MAX・MIN 関数について</p> <p>11 : COUNT 関数について</p> <p>12 : ROUND 関数について</p> <p>13 : IF 関数について</p> <p>14 : IF 関数のネスト</p> <p>15 : 集計表の作成</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「パソコン実習」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				